

東白川村 美しい村づくり 委員会

第62回

- 場 所：五加交流サロンほほえみ
- 時 期：令和4年6月22日 19:00~21:00
- 参加者：委員4名 一般10名 行政担当4名

【今年度委員会の目的】

- ①住民参加の場 ②交流・対話の場 ③学びの場

「持続可能な美しい村」を実現するため、「住民と行政で共に学ぶ」をテーマに、「学びの場」と「対話の場」を設け活動しています。

第1 総務課長あいさつ

第2 学び合い会「住民参加の地域づくり～飛騨市の取組み～」

ゲストスピーカー：大橋明日香さん（個人事業主・地域おこし協力隊OG）



1 事例紹介（19：15～20：00）

（1）飛騨市の概要

ア 各地域の特徴

イ 行政まちづくり事業（薬草・広葉樹・関係人口）

関係人口事業の「ヒダスケ」の取組みはグッドデザイン受賞。

ウ 「まちづくりとは・・・、日々の生活がちょっとでも楽しくなること」

エ 飛騨市地域おこし協力隊の活動について

オ 飛騨みんなの博覧会

オンパク手法で地域づくり。オンパクとは、地域の人と場所の魅力を体験するイベント。今年5年目を迎え 300 プログラムを超える。この事業の目的は、飛騨市民が飛騨市の魅力を知ること、市民活動家同士が繋がることを目的とし、今年でその目的が達成されたことで、事業を終了するとのこと。次年度からは、次のステップとして、観光商材として事業を展開する。

（2）官民協働事業「ひだプラす」

地域づくり協議会を解体し5年前に住民有志ボランティアからなる、まちづくり中間支援組織（10名ほど）。地域づくり活動団体や活動家を応援サポート。まちづくり団体や活動家を取材し広報記事にしている。「学び→広報→拠点作り」と目標が達成できたため、昨年度に解散した。

（3）地域づくり補助金「小さなまちづくり応援事業補助金」

目的は、まちづくり活動を市民に知ってもらうこと。そのため、市民が投票するプレゼンスタイルを採用。この仕組みにより、市民がまちづくり活動を知り、つながりが増え、ソーシャルキャピタルが豊かになる。プレゼン来場者数は最大300人程度。

（4）自己紹介と感想（20：00～20：30）

第3 閉会後の交流時間（20：30～21：00）

以上

